

解答

一

- 問一 1 オ 2 エ 3 ウ 4 ア
- 問二 また、今は
- 問三 そもそも人
- 問四 憲法とは弱者の人権を保障するためにあるが、差別を受けたり、人権を侵害された経験がないと憲法を具体的に必要とすることがないので、それを想像で考えるしかないから。
- 問五 少数派や弱者の人権を無視したりしないように憲法で自らに歯止めをかけること。
- 問六 エ
- 問七 平和も人権も積極的に主張しつづければ、多数派に無視されたりして意味がなくなってしまうものだから。
- 問八 ウ
- 問九 X 人として正しいこと Y 主張
- 問十 ウ

二

- 問一 a イ b ア c エ d ウ
- 問二 志村は何を描くのだろうか
- 問三 いまいましいやつ
- 問四 教員や生徒は志村ばかりを評価し、自分は正当な評価をされていないという気持ち。
- 問五 X 自信 Y 評判
- 問六 画題といい
- 問七 自尊心が強い(プライドが高い)
- 問八 I おもしろい画題 II イ
- 問九 互いに画を描くことが好きであるという共通の思いをもっているということを感じ合い、相手に共感している。

三

- ① 専門 ② 故障 ③ 映 ④ 疲労 ⑤ 炊

四

- ① ばんぜん ② きょうきゅう ③ じゅうだん ④ ひた ⑤ こうがい

五

- ① エ ② ア ③ ウ ④ イ ⑤ オ

解説

一

- 問六 傍線部③の前後に、人権は保障されて当然で人類の普遍的な価値なのに、実際の歴史の中では、人権は普遍的でもなんでもなかったことが説明されているので、選択肢エが選べます。
- 問十 第六段落にある「ムードに流されて」で始まる一文の内容から、選択肢ウが最も適当であることがわかります。

二

- 問六 傍線部③の後で二枚の画について、画題の違いやチョークと鉛筆の違いを具体的に説明し、「画題といい色彩といい、自分のは要するに少年の描いた画で、志村のは本物である。」とまとめているので、最初の五字を答

えます。

問九

「彼は熱心に描いている。」から本文の終わりまでの部分に着目します。志村も自分も熱心に画を描くなかで、お互いに描くことが好きなことを知り、その気持ちを共感しているという心情を書き表します。